

ミュ-News

男女がともにいきいきと輝き、
住んでいてよかったと思うまち「おおぶ」
住んでみたいと思うまち「おおぶ」の実現をめざそう



レディースカレッジ&メンズカレッジ合同閉講式

あなたにとって**生きる**とは？

～**しあわせ**とは**感謝**の中にある～

3月4日（金）レディースカレッジ&メンズカレッジの合同閉講式を行いました。1年間の学びを締めくくるこの日は、合同閉講式にふさわしい「あなたにとって生きるとは？」をテーマに、薬剤師であり「しあわせです感謝グループ」代表の久田邦博さんを講師にお招きし、お話を伺いました。久田さんご自身も20年にわたり白血病と共に生きてこられたがんサバイバーです。

その久田さんの口から出てくる言葉の数々は、とても心に響くものばかりで、当たり前の中にある感謝に気づかされ、受講生も「生きるとは？」を考えるきっかけとなりました。



久田邦博さん



久田さんの書籍
「死ぬまでに読んでおけ」

人の究極の幸せは4つ

1. 人に愛されること
2. 人に認められること
3. 人から必要とされること
4. 人の役に立つこと



あなたはどんな人でありたいですか？
なりたい自分をセルフイメージする
ことが大切

心に響く名言集

☆青春とは、心の若さである
青春とは人生のある期間ではなく、心の持ち方を言う

サムエル・ウルマン

☆最高の幸福は、富でも名誉でもなく、自分のしたいことを見つけ取り組むことなのです。

ジョセフ・マーフィー

コロナ禍であらわになった 女性を取り巻く現実

顕在化したジェンダー問題



コロナによる休業や不景気により、収入が減ったり失業を最も余儀なくされたのは非正規雇用で働く人たち。非正規雇用比率は女性の方が高いため（総務省 2019 年度「労働力調査（詳細集計）」では、男性 22.8%、女性 55.7%）、女性の貧困を深刻化させることになりました。

中でも非正規雇用で生計を立てているシングルマザーの生活が大きな打撃を受けており、支援団体「NPO法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ」の 2020 年 4 月の調査によると、児童扶養手当を需給している女性で「収入減」という回答は約 6 割にもものぼったといえます。

不平等を生む社会構造～女性はケアする側だけなの？～

コロナにより学校の一時休校で家にいる子どもの世話をするために、多くの親が仕事との両立に悩みました。そして、その影響を直接受けたのはやはり女性でした。

これも、男は仕事、女性は家庭といった考えが私たちの社会に今もなお、深く根付いているからかもしれません。

また、家庭の役割の一つに「ケア」があります。家族みんなが外で元気に活動し、その疲れを癒す安心できる場所が「家庭」であり、それを担うのが「家族」です。

しかし、実際にそのケアを一手に担っているのは、やはり女性であることが多く、家族のケアに力を注ぎ、自分自身が一人でいくつもの役割を抱え疲弊して行くこともあります。



～助け合いネットワークの重要性～



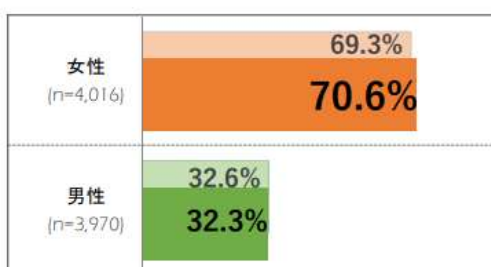
日々、色々な役割を抱える女性にとって、女性同士の助け合いのネットワークはとても大切です。日常のストレスを発散したり、苦労を分かち合ったりするだけでなく、時には急用で子どもの送迎をお願いするなど、ある程度の互助的な機能も持ち合わせていました。しかし、コロナの影響で、人と集まって話をするのが自由にできなくなり、精神的にも孤立を感じる女性が増えています。

参照：自治体問題研究所 HP より

配偶者との家事・育児分担割合(コロナによる影響)

家事分担割合・・・有配偶者が対象

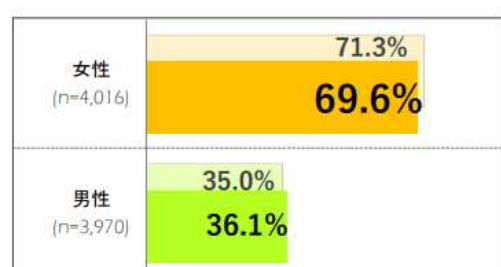
※薄い色が「令和元年度調査」、濃い色が「今年度調査」の結果



増大した私生活上のケア労働が、女性に偏った負担増をもたらしたことがわかる

育児分担割合...小3以下の子供がいる有配偶者が対象

※薄い色が「令和元年度調査」、濃い色が「今年度調査」の結果



出典：内閣府【図表】コロナ下の女性への影響と課題に関する研究会報告書

居場所のない女性たちの SOS

背景には家族の虐待・・・

「SNSに#家出少女って書き込むと、男の人から“泊めてあげるよ”ってメッセージが来るんです。」そう話す10代の少女は、SNSで“支援”を申し出た男性の家に行き、性被害に遭いました。



女性たちを支援するNPO法人「BONDプロジェクト」によると、長期化するコロナ禍で、親や家族から虐待を受け、家に居場所がないと感じている女性たちが危機に陥っているといいます。

死にたい・・・女性たちの悲鳴

NPO法人「BONDプロジェクト」は「10代、20代の生きづらさを抱える女の子のための女性による支援」を掲げ、夜の街をパトロールする活動やSNSで相談に乗ることで、生きづらさに悩む女性たちを支えています。コロナ禍になって、SNSで寄せられる女性たちからの相談が急増。目立つのは「死にたい・・・」という言葉だそうです。

生きづらさの中の孤独感

NPO代表の橘ジュンさんは、すでに生きづらさを抱えていた女性たちに、コロナ禍が追い打ちをかけたことで「死にたい」という気持ちを募らせる人が増えているのではないかと指摘します。さらに橘さんはこう話しています。「生きづらさの中に孤独感がある。コロナ禍だと誰かといえることはさらに難しく、本当にひとりぼっちだと感じている子がいます。大変な時に、より大変な状況になる子というのは何かあった時に身近な人に頼れず、さらに深刻な状況に追い込まれているのではないかと。『死にたい』『消えたい』というのが、彼女たちが今やっと出せる言葉であり、一番伝えたい言葉なのかもしれない。」



参照:NHK Webリポート

女性の自殺者の増加

2020年の女性の自殺者数は7,026人と、前の年より15%以上増えています。働く女性や学生など、特に若い世代の女性たちが追い詰められているといいます。さらに、2021年に目立って増加した女性の自殺については、過去5年間の平均と比較すると、「被雇用者・勤め人」の増加が大きかったことが分かり、原因、動機別にみても「勤務問題」による増加が大きく、コロナの影響による雇用問題が若い女性に降りかかっていることが分かります。

ミューいしがせでも女性の
悩みごと相談をしています。

ひとりで悩まないで！
秘密は守ります

ミューいしがせ
女性のための電話相談

0562-44-9117

つながりサポート事業 女性のための居場所サロン

ミュージアムでは、令和3年7月から令和4年3月の期間、コロナ禍により困難や不安を抱えている女性のために、女性のための居場所サロンを行いました。月に1度程度、ミュージアムにて、支援員と一緒に活動した様子をご紹介します。

1月12日 手芸「ヘアピン作り」

手縫いでチクチク、時間を忘れて可愛いヘアピンを作りました。
布選びからワクワク♪



2月16日 (水) ミニハーフボール作りと セルフケアレッスンでレッツ温活!

冷えは万病のもと。ハーフを布で包んだものを使って体を温める方法を学びました。

1月22日 (土) ピアノ生演奏でマインドフルネス♪

毎日忙しい女性のために、癒しの時間を♪
そんな想いでピアノの生演奏会を企画しました。
ゆったりとした時間を過ごしていただきました。



2月23日 (水) クッキング「りんごのホットケーキ」

みんなで楽しくりんごのホットケーキを作りました。甘〜い香りにほっこり。
手づくりのおやつはやっぱりいいですね。



3月3日 (木) これで大丈夫! 女性のためのしあわせメンタルヘルス



何かとストレスがかかるコロナ禍。ストレス要因があっても体調は自分でコントロールできるんです。知ることによって前向きになれる講座でした。

3月5日 (土) ママと一緒に親子映画会 「SING」

こんな時だからこそ
人とのつながりを大切に
支え合っていきたいですね。

ユニバーサル・スタジオが贈る
大ヒットアニメ!歌のチカラで
元気になれる新しいエナジ
ムムービー♪
映画から元気をもらえました。



© 2016 Universal Studios. All Rights Reserved.

大府市委託主催講座1年間の歩み

ミュージーがせでは「学び」を通して、だれもが豊かな毎日を過ごせるよう今年度も様々な講座を企画運営してきました。その一部をご紹介します。

メンズカレッジ

定年後は競争から協奏へ
暮らしカUPのコツを学びました。



4月から楽しい講座がいっぱい
です。ぜひ、ミュージーがせで
学びませんか？



定年後の時間の使い方
について考えたよ。

レディースカレッジ

自分らしく明るく生きるための
「生き活」について学びました。



何歳だって今にワクワク
しながら楽しまなきゃ。
前向きになれるお話が
聞けました。

看護師
岩月秀子さん

子育てサロン

仲間と共に子育てについて話し
地域で楽しく子育てするヒントを
学びました。



子育て中でも
自分磨き！

自分カUP講座

SDGsとは何かを学び
ジェンダー平等・地球環境問題
など、自分の生活や生き方について
様々な視点で学びました。



地球のために
未来のために
出来ることを真剣に
考える。

環境活動家
フंक・カトリンさん



パパカUP講座

おとう飯プロジェクト
子どものお弁当作りに挑戦！



パパがこんな可愛い
お弁当を作ってくれたら
子どもも大喜びだね。



NPO法人ミューぷらん・おおぶ 活動報告

私たちは、男女共同参画社会の実現を目指し様々な活動をしています。
誰もが「自分らしく生きることができる社会」のために今年も啓発活動を行いました。

寿大学にて講座

大府公民館にて、男女共同参画講座を開催
セカンドライフの過ごし方についてお話しました。

おおぶっこ広場にて講座

「パパも一緒に楽しく子育て」をテーマに
お話しました。

おっさんずルネッサンス上映会

昨年度はコロナで中止となった「男女共同参画
週間事業」ですが、今年度は感染症対策を徹
底し、開催することができました。
イベント最終日は愛三文化会館にて、「おっさん
ずルネッサンス」の上映会を行い、多くの方が
来館くださいました。

メンズカレッジにて講座

毎日の生活には、名前のついていない「名も
なき家事」がいっぱいあります。ごみの分別、
トイレトペーパーの補充など、日常に隠れ
ているたくさんの家事について講座を行いま
した。



ミューいしがせ女性の悩みごと相談室 ひとりで悩んでいませんか

女性の悩みごと電話相談

電話番号：0562-44-9117

女性が直面する様々な悩みについて、相談員が
解決のための一歩を踏み出す応援をしています。
ひとりで悩まず気軽に電話下さい。



メール相談も随時受付中

メールアドレス

misigase_sodan@ma.medias.ne.jp

あなたはひとりじゃ
ありません。

弁護士による女性のための法律相談日

4月13日(水) 5月11日(水)

6月15日(水) 7月13日(水)

専門相談員による面接相談日

4月4日(月) 4月18日(月)

5月2日(月) 5月16日(月)

6月6日(月) 6月20日(月)

※お電話以外の相談については予約制です

相談件数 (314件 内 DV121件)

	12月	1月	2月
電話	72	92	82
面接	23	17	17
メール	3	0	1
その他	2	1	4

NPO主催講座紹介

男性の生活自立のための講座 ～男子厨房に入ろう～

コロナの影響で開催できていなかった男性の生活自立講座ですが、来年度よりお持ち帰りスタイルで再開することになりました。定員12名となりますので、興味ある方はぜひお申込みください。Menuの一部をご紹介します。

日程：4/28 5/26 6/16 7/28 8/25 9/22 料金：3,500円（材料費別）



4月28日(木)

ささみの焼き鳥胡椒丼
魚介の辛子酢味噌和え

5月26日(木)

大きなエビフライ



6月16日(木)

ジャージャー麺
揚げたてがんも

健康体操

～男女が健康で100歳まで 自分の足で歩こう～

お家で過ごす時間が増え、運動不足になってはいませんか？
広い場所で、みんなと一緒に体を動かすと、心も体も元気になります。ぜひ、一緒に運動しましょう。

日程：毎月第1・3・5月曜日 午後1時半～3時
4/4 4/18 5/16 5/30 6/6 6/20
7/4 8/1 8/29 9/5 全10回

料金：5,000円



私たちの活動を応援してください ～ぜひ会員のご継続をお願いします～



ミューぷらん・おおぶは、男女共同参画社会の実現とSDGsの目標5. ジェンダー平等の推進と、またそれに付随する活動によりSDGs全体の目標達成のために活動しています。

今回、会員ご継続の皆さまには、SDGsゴールを目指す意味も含め、手作りの数珠入れとアクリルエコたわしをお届けいたします。



12 つくも壊は つかた壊は



数珠入れは、不要になった着物やご寄付いただいた布を使ったアップサイクル品です。アップサイクルは持続可能なものづくりの方法の一つであり、手作業で製作しています。

14 海の豊かさを 守ろう



エコたわしは、アクリル繊維の特徴を活かして、洗剤を使わなくても汚れが落ちやすいため水質保全にもつながります。こちらもひとつひとつ手作業で作っています。

＊ふれあい広場 ～みんなが集う、学ぶ、語り合う場 ミューいしがせ～

3月6日(日)コラビアまつりにNPO法人ミューぷらん・おおぶも参加しました。男女共同参画のことを少しでも知っていただくために、掲示物やパンフレットにて来館者の方へお話をさせていただきました。

また、物販では、女性支援のためにNPOの理事がひと針ひと針心をこめて作った着物をリメイクした手づくりのバックや小物を販売しました。地域の皆様と交流でき貴重な時間となりました。

会員の皆様におかれましては、今年度もご理解、ご協力いただきありがとうございます。コロナによる利用制限が続いておりますが、ご来館の際には、皆様に心地よく会館を利用していただけるよう、スタッフ一同努めて参ります。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



1番人気のバック。
たっぷり入って
1,500円ととっても
お値打ちです。
ご興味のある方は窓口
でお問合せ下さいね。

＊新着図書紹介

大府市は「認知症不安ゼロのまち おおぶ」の実現を目指しています。ミューいしがせの図書コーナーは認知症に関する本も多く所蔵しています。その一部をご紹介します。



「全員悪人」

認知症患者と長い時間を過ごした著者が、介護される側の目を通して認知症患者の日々を綴った1冊。

村井 理子/著
CCCメディアハウス



「ボクはやっと認知症のことがわかった」

「長谷川式スケール」。いまでは一般の人も知っているその検査の開発者であり、自らも認知症になった専門医が、日本人に伝えたい遺言。

八田 真理子/著
労働教育センター



ご意見・ご感想を
ミューぷらん・おおぶまで
お寄せ下さい。
問合せ先のTEL・
FAX・メールでどうぞ!

NPO法人
ミューぷらん・おおぶ

問合せ先

〒474-0035

大府市江端町4-1 石ヶ瀬会館内

TEL: (0562) 48-0588

FAX: (0562) 44-9144

Eメール: misigase@ma.medias.ne.jp



ミューいしがせ
ホームページ



ミューぷらん・おおぶ
ホームページ